

「市中に建つ熊本の木の家」

くまもと型伝統構法を用いた気候風土適応住宅です。



熊本県では、木造伝統構法の普及、地産地消による地域産業の活性化を図るため、「くまもと型伝統構法を用いた木造建築物設計指針」を策定しています。この家は、その指針に基づき設計され、また新省エネ基準も満たしています。

高気密・高断熱住宅だけでなく、先人の知恵をいかした家づくりにも目を向けてみませんか。大きな窓による風通しや、漆喰の調湿効果など、熊本の気候風土に適応した、石油製品に頼りすぎない木の家をご覧ください。

見どころ : 瓦葺き・外部漆喰・内部漆喰・石場建て・フルオープン木製建具・長い軒の出・造作キッチン・無垢板・脱石油製品・自然石利用・引き込み格子網戸
内外構造材表し

開催日 : 令和8年9月19日(土)・20日(日)

時間 : 11時 13時 14時30分 16時

駐車場 : 微少

開催場所 : 熊本市中央区大江2丁目(県劇の東側)準防火地域

主催 : 熊本の山の木で家をつくる会 : くまもと型木造伝統構法普及検討委員会 : 設計すまい塾古川設計室

事前申込 : 駐車場が少なく入場制限を設けますので、事前にお名前・連絡先・希望時間帯

を申込先メールまたはQRコードにて申し込んでください。場所、時間等をお知らせします。

申込メール(事務局) : sumai-hurukawa@basil.ocn.ne.jp

